

地域づくり委員会だより

vol. 4

発行：鳥上地区振興会 地域づくり委員会
有線・FAX：20-6001
メール：torisin1@okuizumo.ne.jp

地域づくり委員会が「小さな拠点づくり」に向け取り組みを始めて3年が経過し、本格的に地区の皆さんの声を聞かせて頂く「ワークショップ」を行ってから2年が過ぎました。令和元年度は、そのために1年かけて、いよいよ令和2年度から取り組んで行くべき年と考えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により様々な会合、寄り合い等が感染拡大防止の為、延期・中止となり地域づくり委員会も同様に今年度当初は話し合いをする事が出来ませんでした。6月以降地域づくり委員会での意見をまとめ、鳥上地区の課題が見えてきました。今後この課題に優先順位を付け、課題解決に向けて取り組みを進めて行きます。

鳥上地区振興会 会長 堀江 修

地域づくり委員会のメンバー紹介

○鳥上地区振興会

顧問 堀江康輔

会長 堀江 修

副会長 安部 哲成 <自治会長会副会長>

副会長 嵐谷康隆 <地域づくり支援員>

○地区推薦委員

佐藤 進 <自治会長会副会長>、村尾紀代之、高尾奈津子、田辺訓昭、安部義人、嵐谷 勉
卜藤真由美、高尾富美(事務局)、松崎智樹(事務局)、福本 愛 (事務局)

ワークショップでの意見(まとめ)

平成30年度に鳥上地区全体や各自治会単位で行っていただいたワークショップにおいて、多くの意見等が出された内容は以下の通りでした。地域づくり委員会では、この意見を基に更に細分化して現状確認や理想像、課題の分析を行い、今後、鳥上地区として取り組みに向けた①~⑦のスローガンを策定しました。

1. 鳥上の人口について

- ① 地域で暮らす住民が魅力を感じ「幸せ」に暮らす環境づくり!
- ② いきいきと生きがいを持って暮らせる鳥上づくり!
- ③ ふるさとの未来を託せる教育!

2. 鳥上のつながりについて

- ④ みんな仲良く助け合いながら生きていける鳥上づくり!

3. 鳥上の空家について

※本意見については、長期的な期間や一定の予算の確保が必要なことや行政における取組みが既に行われていることを踏まえ、当委員会での取組みは当面見送ることとしました。

4. 鳥上の防災について

- ⑤ 防災意識を高め安全・安心な地域づくり!

5. 鳥上の暮らしについて

- ⑥ めざせ健康寿命日本一! (健康・医療・見守り体制の取組みによる安心生活)

6. 鳥上の観光資源について 7. 鳥上の産業について

- ⑦ まるごと鳥上を売り出す作戦!

①鳥上で暮らす住民が魅力を感じ「幸せ」に暮らす環境づくり！

現状・原因

データで見る鳥上

人口減少、農業後継者不足、田畑が荒れる（耕作放棄地）、家庭の後継者、年金で暮らせる

鳥上の見方

内から見た鳥上、外から見た鳥上

農業後継者

農業に魅力を感じない、子供の頃から農業の手伝いをさせていない、農作業をする時が問題、一人の農作業はつらい（仲間と集団が良い）

働く場所

働く場と都会との賃金格差は当たり前

都市部生活者

帰っても仕事が無い、鳥上で暮らす理由が無い、都会は便利、刺激がある、都会で暮らす理由が分からない、スキルアップできない、役が回ってくる、周りで話題になる

近くには帰るが鳥上に帰らない
松江出发までは帰るが、鳥上には

学校問題他

横田小学校に通いたい
ホッケーをしている子は残っている

それってどうゆうこと？何が変わる

鳥上のイメージを変える



鳥上で暮らす住民が魅力を感じ「幸せ」に暮らす環境づくり

理想

楽しくやる農業

農作業の共同作業化、世帯ではなく集落で共同作業、共同作業で収入になる仕組み、重労働を減らす機械化（A1）楽しく収入があれば魅力向上親が楽しく農業をする姿を見せる

Uターン定住

鳥上のイメージをよくする
近所で買掛け運動（みんな仲良く）
出身者と交流できる場をつくる
都会の経験を活かす場づくり
始めながら活動できる環境づくり
距離の時間が短くなる
雪の心配をなくする
賃貸アパートができる

子供の目線

子供の意見を尊重しアイデアの実現を応援

課題

将来のために

住民意識を変える

魅力ある農業

出身者対応

子供たちの夢（提案）の実現を応援する

鳥上の魅力発見活動、Uターン者への意識

農業を仕事とに育てる
若い人材で収入を得る農業（若手育成）
農業機械銀行（中古機械のシェアリング）
Uターンの新規就農者を受入れる
農業自体を見つめなおす
I・T・A・i農業（ローカル5Gの活用）

都会に住む理由出身者アンケート（モニター募集）
妻乃上荘で鳥上会＆大同窓会開催
出身者のリストアップ（家族からの情報提供）

②いきいきと生きがいを持って暮らせる鳥上づくり

現状・原因

総合的問題

高齢者のみの家庭に困りごとが多い（農業、買い物、通院）

交通問題

公営者の交通手段がない

独居問題

高齢者世帯の増加

医療問題

病気になる和家人に帰れない
独居・高齢者世帯に援助が必要

食事問題

男の一人暮らしは食事がルーズ
一人暮らしだと元気がなくなる

衛生問題

衛生が心配（身体、環境、栄養）
独居、高齢者世帯は病気に成りやすい（生活状態の悪化）、独居、高齢者世帯の家の周囲の荒廃

その他問題

離れて生活している子供と意見が合わない、会話が無いとホッケー、子や親せきがあると鳥上から転出する、自治会脱退につながる

それってどうゆうこと？何が変わる

困りごとを抱える独居、高齢者世帯の増加



元気な独居・高齢者の地域
地域に必要なとされるお年寄りづくり

理想

食事の提供

朝ごはんなど食事が提供できる。
（配食、〇〇食費）、食室は話ができる場になる

共同生活

空き家など一日共同で生活できる
シェアハウス、独居、高齢者が共同生活できる場の開設

機会の提供

出かける場を設ける（身だしなみを整えるようになる）、高齢者が集まって何かをつくり個けにつなげる、趣味の場づくり、高齢者が集まり食事や話ができる場、体を動かす機会（場）の提供

衛生チェック

チェックシートなどの衛生面
チェック、専門家による生活
チェック体制

課題

食事の提供

鳥上版ミニデーサービス

サロンの提供

プライベートの保護

地域での活躍

データで見る

制度や事例を知る

コミセン調理室を開放し食事の提供

独居・高齢者を対象としたミニデーサービスの提供

小さな単位でもサロンを開催し、外出を支援
協働精神の保護（皆と一緒に助け合い）
見守る目、観察する目を周りが養う

地域で必要とされる活躍の場の提供、地域での役割を与え生きがいを持ってもらう

独居、高齢者世帯の分布等のデータ収集、
独居、高齢者アンケート&ヒアリング
高齢者対策事業の課題や事例を学ぶ

③ふるさとの未来を託せる教育

現状・原因

少子化・高齢化

子供がいる世帯の減少により、教育に対する関心の希薄化

鳥上幼稚園の休園

地区の学校存続と教育思想の多様化

町内小学校の統合（合併）構想

それってどうゆうこと？何が変わる

教育を通じて地域の独自性の維持継続

地域活性化・未来への投資

理想

○小学校合併後の教育的機能の存続
→先人の功績等への配慮や地域教育的な機能としての存続
→地域特性を活かした地域教育の発展

○小学校合併後の施設の存続
→子供たちの文化芸術の伝承の場
→農泊施設としての活用

課題

○小学校合併後の教育的機能の存続
→地域サポート体制（人員・人材）の確保
→地域イベント（地区民運動会等）の継続

○小学校合併後の施設の存続
→財源（人・物・金）の確保

地区総合的ビジョンの策定

④みんな仲良く助け合いながら生きていける鳥上づくり

現状・原因

自治会への意識

自治会って必要？前例踏襲、変化への拒否感、担い手が少なくなる

役の数、世帯状況

自治会の役が大変、役の棚卸で整理、一人世帯の増加、高齢者のみ世帯の増加、家持ち回りの役員体制、班長神社当番交通安全委員

お互いの尊重

近所付き合いのスタンス、支え合い助け合い本人の意思も

協働

協働心の希薄、自己犠牲までしての共同作業

伝統行事ほか

そば祭りはほぼ全員参加
伝統的な祭りが続けられている
収穫祭などの恒例化
十七夜が続いている

お話寄合

縁側お茶会が減った、毎月サロンで寄合、お話をしたい人が沢山いる、年代別のお茶会月1回

新たなコミュニティ

退谷のたたら灯りイベント

それってどうゆうこと？何が変わる

お互いを程よく受け入れる意識が醸成され、地域で暮らし「幸せ」を感じられる地域になる

自助、互助、共助の地域づくり

理想

役の棚卸

本人の意志を確認し理解しあう自治会
高齢化に伴った行事等の鎮静化
自治会の役を減らす

元気で寄り合える場づくり

健康づくりと楽しく話し合う場の強化、気軽に話ができる場所や機会の拡大、自治会館を会議協議の場からたまり場サロンの場へ（喫茶、居酒屋、カラオケなど）

共助

皆仲良く助け合いながら生きていける社会

女性の活躍

伝統料理の教室による女性活躍

なごみの場

一人でも気軽に行ける場が欲しい

協働作業

共同作業をしながら進んでいる野菜作りを一緒にみんなでしたい

課題

役の棚卸

自治会の「役」と「会計」の棚卸
自治会の在り方の話し合い
自治会員の意識改革、他の人への共感、違う考え方の認識、変革の断行
住み思っているようにするか話し合い
具体的な支え合い活動の体制づくりと実践

寄合サロン

縁側カフェ、サロン体験、集いの場づくり

伝統料理の継承

女性の煮しめ教室、漬物教室

健康づくり

健康寿命を伸ばすための実践

サードスペース

気軽に一人になれるなごみの場所づくり

意識改革

1ターナー者の考え風土の受け入れ意識へ

⑤防災意識を高め安全・安心な地域づくり

現状・原因

ハード事業
河川・山・堤防などの施設整備
ハード事業は間に合わない順番待ち

危険箇所
土砂災害に不安がる
急傾斜地が不安
土砂災害特別警戒区域に指定されていない

水害想定範囲の見える化
水に関するハザードマップが無い

防災ソフト活動
前例は避難中に亡くなっているソフト活動（予備知識など）

安全な場所？
避難所が無い。
避難所は安全な場所？

人名を守る
人的被害が不安である

それってどうゆうこと？何が変わる

住民意識が変わり、早めの避難
地域で人命を守る態勢整備



地域防災システム（計画）をつくる

理想

ハード整備
河川、堤防、砂防の適正な整備が行われる

危険箇所の把握
自主点検で危険箇所が見える化

住民意識
災害に備える住民意識の高まり。
避難の目安の共有で安全に避難。

避難態勢
先ず自助で避難する意識
互助・共助の皆で避難できる態勢

安全・安心な避難場所
安心できる避難場所の確保

課題

自治体要望活動	防災施設の整備修繕、堆積土・河川立木除去
危険箇所の点検	鳥上水害ハザードマップの自主作成→専門家
避難訓練の実施	避難訓練により想定訓練(避難や炊出し訓練) 避難所の安全点検による信頼性の担保 危険箇所の自主点検 要援護者への対応を事前に把握（安否確認） 皆で逃げる自助・互助・共助の避難態勢 気候変動・自然災害の予備知識 災害に備えた資材、物資の備蓄
防災意識の向上	
住民意識改革（皆で避難）	
避難ラインの共有	避難レベルの見定めや早めの避難の知識意識

⑥めざせ健康寿命日本一（健康・医療・見守り体制の取組みによる安心生活）

現状・原因

健康診断問題
検診会場が遠い、交通弱者
職業により検診内容が異なる

独居問題
高齢者・単身世帯の増加
一人暮らし等の食生活

運動等が出来る環境問題
自治会や加入組織により健康体操等の出来る環境が異なる

医療問題
独居・高齢者世帯に援助が必要
生活習慣病の増加
健康・安否確認（孤独死）
近病で高度医療が受けられない

それってどうゆうこと？何が変わる

健康寿命の高位準化
生活習慣病等の発症率の低減



元気で健康な地域の確立

理想

食事の提供
定期的な食事が提供（配食、〇食費、お茶会）
会話のできる場所の提供
ピンピンコロリ

機会の提供
自治会、組織単位での健康体操
セミナー、懇親会の開催
軽スポーツの計画を立てる
インストラクターの育成
リハビリ学院生への協力依頼
カラオケ場所の提供
年齢に応じた施設の充実

見える化
自治会単位での受診率の見える化
職業別の健康診断内容の開示

交通手段の確保
タクシーチケット
交通システムの構築

検診・施設の充実
糖尿病やガン検診の充実
検診重要性のセミナー
年齢に応じた健康器具等の施設の提供

課題

食事の提供	人材・費用の財源
機会の提供	運営体制、費用財源、コロナ対策
見える化	個人情報、情報収集の効率化
交通手段の確保	人材・費用の財源、利用ニーズの確認
検診・施設の充実	運営体制、費用財源、コロナ対策

⑦ まるごと鳥上を売り出す作戦

現状・原因

農業問題

農業（米づくり）は収入にならない、米づくりに替わる作物を見つけ出す

仕事問題

若者の求める仕事が少ない
若者がやりたい仕事場は少ない
仕事が無い
転職先が無い
正社員になれる仕事が無い

観光問題

斐乃上荘（観光資源）がぎびれている、観光アピールが足りない、わくわくプールが無料わくわくプールの拡大観光産業と呼べるものがありますか？

イベント

イベントをしても収入にならない
イベントに関わる地元のはじめみんなボランティア

それってどうゆうこと？何が変わる

魅力があるのに発信できていない



鳥上の資源をまるごと発信できる

理想

農産物

観光地、お土産、農産物を有機的につなげて一大観光地となればいい（仕事の場となれば）
えごまオイルの開発

神話、地域資源

鬼神神社・山ノ神社をパワースポットに、職と自然と時間の流れ神話を売りに点を面に変える、鳥上周遊プランの開発、棚田めぐり・樹木めぐり

PR作戦

インスタ映え若者を呼び込む

斐乃上荘

斐乃上荘に個室スペースがあったらいいな、観光客がお金を持ってきて落としてくれて鳥上が潤う→美肌で女性を誘う、美肌料理（ソバ、煮しめ、リコピン、山菜、アボカド、スポン）、斐乃上荘のPR（美肌、食事）、斐乃上荘でゆったりサービス

体験物

畑の先生、体験コーナー、都会から農業体験と観光セットにして集客、山菜採りツアー、農泊

新名所づくり

たたらの灯り、鳥上ルミネリエ

課題

資源調査

郷土料理の伝承

魅力ある食事

先人の知恵

モニターツアー

イベントのあるPR

田舎の演出

スポーツ企画

神社活用

鳥上にある観光・景観・神話等の資源調査

煮しめ料理のメニュー化、煮しめ材料の調理の仕組みづくり（採る、作る、保存する）

魅力あるメニュー開発（もち懐石）、美肌メニュー開発、町内飲食店と連携、食材の洗い出しとストーリーの洗い出し、伝統料理のレシピ化（言う、受け継ぐ、開発する）

お婆ちゃんの知恵袋（ターゲットは）

魅力を発見する出身者モニターツアー

インパクトがあるPRメッセージを考える

都会から見た非日常を演出（田舎のまま）

斐乃上トトレイルランニング、スポーツ合宿

鬼神神社、山ノ神社 御朱印提供

今後の委員会での取組み事項（計画）

今後、地域づくり委員会では、上記の各スローガンの内容について、重要性や緊急性等の分析を行い、取組み事項の優先順位を定めて具体的な計画を策定したなかで取組みを進めていきます。

なお、今年度は新型コロナウイルスの影響により、年度当初より委員会の開催や今年度の事業計画の策定が困難な状況が続き、今年度の具体的な取組み事項を地区民の皆様にご案内が出来ていない状況ではありますが、今後の状況や次年度を視野にいれながら取組みを進めていきたいと思っております。

また、鳥上地区民の皆様（団体・グループ）の活動に対して、支援を行う制度を創設しました。詳しくは、裏面の「令和2年度 地域づくり活動助成金要綱」をご確認下さい。



写真は地域の子も達が防災について学ぶ様子[公民館事業との共催事業(とりっこベース防災デー)]

新たな地域づくり活動に取り組んでみませんか！！

活動の目的は？

- 地域住民が中心となって、暮らしに必要な機能やサービス補う活動。
- 地域住民の交流を行う活動。

助成金対象となる団体は？

- 鳥上地区住民5名以上で構成されるグループ・団体
- 地域の活性化を目的とする団体（例：女子交流会・炊き出し訓練・他地域との交流イベント等）
* 政治、宗教団体は対象としない。

助成金3万円以内（予算総額90,000円）

対象となる活動は？

- 主体性・・住民自らの手により推進する活動
- 公共性・・不特定多数の者の利益又は地域社会への貢献が期待できる活動
- 独創性・・独自の発想や新たな視点による活動
- 発展性・・波及効果や新たな展開が期待出来る活動

対象となる経費は？

- 講師謝金、消耗品費、広報費など
- 活動に参加するなど活動実施のための交通費（バス代）
- 印刷製本費（チラシ、ポスター代等）
- 郵便料（はがき、切手）等
- イベント会場等の使用料、機械等の賃借料
- 活動実施に必要な経費で会長が認めたもの
*実績報告の際に領収書の写し等の証拠書類が必要となります。

対象とならない経費

- 構成員又はこれに属する人に対する飲食費
- 構成員又はこれに属する人に対する人件費、謝礼

実施期間は？

- 助成決定から令和3年1月15日まで

申込方法は？

- *別紙の申込書を活動日一ヶ月前までに地域づくり委員会（鳥上の輪）事務所に持参してください。
申込書は地域づくり委員会（鳥上の輪）事務所又は地域づくり委員会ホームページからも入手できます。 <http://www.okuizumo.ne.jp/~torisin1/>
尚 「鳥上の輪」不在の場合は公民館へお願い致します。

提案活動の審査は？

- *提出された申込書を基に、地域づくり委員会に於いて審査

10、補助金の交付は？

- *申請者宛てに連絡、支払い

11、実績報告は？

- *活動終了した場合は、活動完了後1ヶ月以内に報告書、活動記録（写真）提出